

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 90 号

Jumping ability is related to change of direction ability in elite handball players

(エリートハンドボール選手の跳躍能力と方向転換能力の関係)

勝又 健太 (かつまた けんた)

博士 (スポーツ健康科学)

論文審査結果の要旨

【研究目的の特徴・独創性・論理性】

ハンドボール選手を対象に方向転換能力と跳躍能力との関連性を検証していることが特徴である。特に、方向転換能力に関する先行研究の多くは1種類の方向転換角度で方向転換能力を評価することが多いが、本研究では同時に3種類の異なる方向転換角度を用いている点に独創性が見られる。また、垂直方向や水平方向への跳躍に着目しトレーニングへの応用を試みている点も特徴である。

【研究方法の妥当性】

本研究で用いた方向転換走（ジグザグ走）や20m直線走、そして跳躍能力の測定は、いずれも先行研究をもとに測定を実施している。ジグザグ走の方向転換角度においても、予備実験を含め、十分な検討を行った上で測定を行っており信頼性は高い。測定項目間の妥当性の検証も級内相関係数を使用して検証されている。

【結果・知見の新しさ】

これまでの方向転換走を使用した研究では、1種類の方向転換角度の方向転換走を使用していた。しかしながら、競技者の能力を評価するのであれば、試合中に発生する可能性がある方向転換角度についても網羅する必要がある。本研究では同時に3種類の異なる方向転換角度でのジグザグ走を実施しており、様々な角度での方向転換が発生するハンドボール選手の方向転換能力を測定している点が新しいといえる。

【考察および結論の妥当性】

本研究では同時に3種類の異なる方向転換走に関する結果が記述されており、さらに垂直方向への跳躍能力だけではなく、水平方向への跳躍能力と方向転換能力との関連性についても言及されている。競技者を対象として、ジグザグ走の方向転換角度を変更し、3つの異なる方向転換角度に関する結果からも考察されており、先行研究での結果についても言及している。そして、研究の限界、本結果の一般化についても論文内に記されており妥当性が担保されている。

【研究の当該分野における位置づけ】

本研究の結果は、コーチング現場にとって有益な情報を含んでいる。今般の新型コロナウイルス感染症の蔓延などによるチーム活動が中止された際であっても、本研究の知見

は競技者個人のパフォーマンス維持に役立つものである。今回の結果を基にして、今後は、ハイレベルな競技者や他の球技種目、さらにトレーニング介入研究のための基礎資料にもなると考えられる。

【質疑に対する応答の適切性】

全ての質疑に対して、極めて明確に応答がなされていた。また、研究の限界を意識した上でも適切に応答がなされた。

【論文審査の結果】

上述の通り、本論文の新規性、研究デザインや方法の妥当性、結果の解釈等は概ね適切であった。審査会では、学位申請者が本研究において中心的な役割を果たしていることも確認でき、博士の学位を授与するに相応しい水準であると判断し、審査結果は「合」とした。